いっちん子ども自然塾　　5月度活動報告

活動の目的　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

1. 開催日時　2023年5月14日（日） 10時～14時30分　（早朝に雨上がり）曇り
2. 参加人数　参加者 18名 （欠席2名）　　参加スタッフ 12名
3. 行事内容　1 農作業体験； サツマイモの植付け、キヌサヤなどマメ類の収穫
　2 生活の暦　； かしわ餅作り　使用済み牛乳パックを利用したジャンボコマ作り
　3 森の共生　；竹の学習とコップ作り他
4. スケジュールと活動概要

10:00-10:20	挨拶、前月の復習、今日のスケジュール説明と注意事項。
10:20-11:00	サツマイモ＜鳴門金時＞の植え付け、キヌサヤ他の収穫、水稲苗の観察など。
11:00-11:45	かしわ餅の説明後、30分ほどは、ピロティで牛乳パックを利用したコマ作り。
11:45-12:20	もちが準備できたので手洗い後、かしわもち作りに挑戦。（12:30頃蒸しあがり）
12:20-13:20	昼食と自由時間。蒸したかしわ餅は、試食またはお土産とした。
13:20-14:25	竹の学習。竹でコップをつくる（お土産）。
14:25-14:30	今日の振り返り、次回のお知らせと服装など注意事項を説明。

5. 活動補足と所見
- サツマイモ植え付けは、マルチシートに移植コテで穴を掘り、苗茎を挿した。約100本。
- キヌサヤの収穫は、葉にまぎれた実を探すのが難しくて見過ごしが多く、スタッフに教えてもらったりお互いに教えあったり、楽しんでたくさん収穫した。
- 雨天に備え、前日にサルトリイバラを大量に準備したので、当日の採集は省略。かしわもちの準備（粉練り）待ちとなったため、廃牛乳パックを利用したジャンボコマを作って楽しんだ。
- かしわもちの生地を伸ばしてアンコを挟み、葉に載せる作業は、初めてだったがマアマアうまくいった。せいろ3段にて40ケを蒸す。蒸し始めた段階で子どもたちは高架下へ移動し昼食。
- かしわもちは1ケを食べ、1ケをお土産に持ち帰った子どもが多かった。まったく食べない子供もいた。
- 竹コップは、いくつも作って楽しんだ。サンドペーパーで滑らかに磨く作業にも丁寧に取り組んだ。
- 水筒・帽子・手袋・長くつなどの夏季注意事項、田植え作業の服装などを説明した。

6. 活動風景

サツマイモ（苗）植え付け

キヌサヤの収穫

サルトリイバラの葉（カシワの葉の代替）

かしわ餅を作り、蒸し器へ

待ち時間にジャンボコマを作る

竹を切りコースターを作る